

料金後納

ゆうメール

育脳寺子屋通信

〒616-8156 京都市右京区太秦西野町20

育脳寺子屋MAC

TEL 075-871-0374

FAX 075-882-3777

URL <http://www.mac-terakoya.com>

e-mail 4411@mtf.biglobe.ne.jp

teaching → learning

これからは「学ぶ教育」

『自分が受けた教育を子どもに押しつけてはならない。』

『彼(彼女)はあなたとは別の時代に生まれたのだから』

…タゴール（アジアで初めてノーベル賞を受賞したインドの思想家）

これは、ビル・ゲイツも絶賛の「カーンアカデミー」の創設者、サルマン・カーンの著書、

『**世界は一つの教室**』（サブタイトルに“全米話題沸騰の書がついに日本上陸”）の冒頭で紹介されている言葉です。

昔ながらの「教育モデル」は、今の私たちのニーズには合わない。子どもたちを年齢別のグループに押し込め、画一的なカリキュラムを与える。それがもはや最善のモデルでないのは明らかだ。

従来のモデルは基本的に受動的な学習法だが、**世界はもっと能動的な情報処理を必要としている。**

このような考えのもと、2006年にNPO法人として設立されたのが、「カーンアカデミー」なのです。

『**世界は一つの教室**』の中では、常々育脳寺子屋MACが指摘していることが列挙されています。

- ◆ 学習スピードは、人によって異なる。直感で分かる人もいれば、こつこつと理解を深めていく人もいる。
理解の早い生徒と遅い生徒の差が時間と共に拡大しやすいので、一つのクラスに入れると理解の速い生徒が退屈してしまうか、理解の遅い生徒が脱落してしまうかのどちらかになりがちになる。
- ◆ 伝統的なモデルでは、特定の学習内容や学習項目に、決まった長さの授業時間が費やされる。予定の時間が終われば、個々の生徒の習得度合いに開きがあっても、クラス全体が次の内容に移る。

- ◆ 伝統的な教育モデルでは、先生が生徒一人一人のつまずきをすべて見つけるのは無理だ。そうすると復習の最終責任は生徒自身が負うしかない。
だが、伝統的な教室モデルでは、生徒は受け身である。黙って座り、吸収する。よって自分から進んで弱点を診断し、解決策を見つけるように求められるのだが、可能性は極めて低い。
- ◆ 現代人の大半は、初等教育から高等教育まで、同年齢の子供がいる学校へ通う。産業革命以前は、子どもを年齢でくくるといのは例外的だった。だが、子供たちは同年齢で区分することは自然なことではない。家族は同年齢集団ではないし、それは世界も同じである。

このような課題を解決するには

◎ **完全習得学習**（カーンアカデミーの重要なコンセプト）

生徒はある学習内容を十分に理解した上で、もっと高度な内容に進むべきだ。

◎ **自発的に学習するための「マイペース学習」**

全ての教科を最初から「わかる」生徒などいない。頭が良くても、すべての生徒が時にはつまずく。つまずいた時には、よく解るところまで後戻りすればいい。繰り返しは学習には欠かせない要素だ。

◎ **「ひとつの教室」**

さまざまな年齢の子がいて構わない。マイペース学習を基本モデルにすれば、年齢別に子供をくくる必要など全くない。

この「カーンアカデミー」はウェブ上で最も多くの人に利用されている教育プラットフォームであり、コンピュータによるマイペース学習を無料で途上国にも押し進めています。

この「カーンアカデミー」に先立つこと10数年、既にMACではこのことに気付き、オープンスペースでの**対話重視の自立型個別指導**（経験上コンピュータによる学習は、やる気のない子や基礎学力のない子には問題ありと考え）に着手していました。

MACの授業では、

「先生、この問題どうすればいいのですか？」

「真ん中の数字を^{エックス}Xにして考えたら」

ところが、なかなか答えを前に持ってきません。

「〇〇まだ答え、でないの？」

「・・・」

「はい、前に出てきましょう！」

「何が分からへん？ ひょっとしたらこの語句？」

「〇〇でもこの言葉の意味分からへんの？ はい、辞書で調べて！」

簡単な熟語の意味が分からないのです。

ここでは、次のような

連続する3つの偶数の和が96であるという。これらの偶数の中央の数を求めよ。

一次方程式の問題なのですが、さて、どの語句が分からなかったのでしょうか？

この生徒だけではなく、このところ毎年のように、この語句が分からないという生徒がいます。

「えっ、分からないの？」と思わず言ってしまった熟語、それは「連続」という言葉なのです。この言葉を知らない中学生が実に多いのです。

英語では、「和訳って何？」と聞いてきた生徒もいます。

社会や理科の苦手な生徒は、内容以前に使われている語句にその原因があるのでは？

このような簡単な熟語を知らないのですから。

今、多くの学習塾ではパソコンによる授業が行われていますが、対話重視の自立型個別指導でないと、このような事例は分からないままスルーされているのではないのでしょうか？

しーん

授業中ほとんど私語を話す生徒はいません。あまりに静かすぎて、寝ているのではないかと疑う生徒もいます。

「〇〇、寝てない？」

「寝ていませんよ」

「〇〇下手の考え、休むに似たり！いくら考えても分からない時は、ヒント出すよ！」

「大丈夫です、あともう少しでできます」

「それじゃ、頑張って！」

「この問題、分かりません」

「分かりませんでは、ヒントも出せないよ。ここまで考えたのですけど、これで良いのですか？という聞き方でないと」と、言うのですが……

『世界はひとつの教室』では、次のような言葉が紹介されています。

《思考を伴わない学習は徒労である。》

《学習を伴わない思考は危険である》

・・・孔子

教室であれ、電話の向こうであれ、30人のクラスであれ、1対1の家庭教師であれ、教師の

存在が生徒の思考停止をもたらすことがある。

学習プロセスのあらゆる段階で、教育に対する能動的な姿勢を保つように後押ししなければならない、と。

MACでは、

学習に対する取り組み姿勢についても、「出来ない、分からない」など否定的な発言をした場合には、そのような言葉を使わないように注意しています。なぜなら、自分の発する否定的な言葉によって思考停止の状態になってしまうからです。

MACの中学部での授業は、**到達度の伸びが大きい「完全習得学習プログラム」**になっており、自発的に学習するための**「マイペース学習」**なのです。

その結果、例えば中学1年生では数学では8月末時点で比例・反比例を終了、英語においてもU6終了という生徒が複数います。

今春、高校に進学した生徒の中には、9月の中ごろに中3の範囲をすべて終了した生徒もいました。

また、このような能動的・自発的な授業体型により「定期テスト1週間前には塾に来ることの無いように」という指導もできるのです。

この**「マイペース学習」**では、自分の苦手なところでは、時間をかけることが出来ますし、後戻りすることもでき、受け身でない自発的な学習にすることが出来ます。

以前、今、小学校に入る生徒の65%は、今はない仕事に就くだろうと予測する説があると思いましたが、

『世界はひとつの教室』の中でもその説に触れており、今の若者達が**「10年後、20年後に何を知らないか知らなければならぬ以上、正確に予測できない以上、大切なのは「何を教えるか」ではなく、「どのように独学の姿勢を身に付けさせるか」**であり、

基礎的な数学や科学の素地は必要だし、世の中を把握するために歴史や政治について知る必要もある。しかしそうした基本的な事柄以上に重要な教育の役割は、「いかにして学ぶか」を子供たちに教えることである。

そのために、子供たちの好奇心を育み、素直な驚きを促し、自信を植え付けて、将来、まだ見ぬ数多くの問題に対する答えを探せるようにしてあげることだ、と。

MACでは小学部では学力の基礎・基本となる「読み・書き・ソロバン」を軸とした学習と「育脳トライアル」をはじめとする育脳教材で、子供たちの知的好奇心を育み、自信を植え付け、子供たち自身の気づきに重きを置いた「させられる」のではなく、「自らする」能動的な授業をしており、中学部では小学部の取り組みプラス**「いかにして学ぶか」**を軸にした指導をしています。

保護者には、MACは「釣った魚を与えるのではなく、魚の釣り方を教える」授業形態をとっていると説明しています。

ところで、「マイペース学習」では、もっと時間が必要な生徒については問題点があります。それは、丸暗記、テスト重視の学校の授業進度との兼ね合いです。

そのために、計画性のある予定学習が身に付けられるように自覚を促しています。具体的には、学校の進み具合を勘案し、遅れてきたときにはどのようにして自学自習をすればよいのか？ 要するに、「**学習の速度**」を管理させるということなのですが、頭の痛いのは、進み具合が遅くてもなんともしない、（思っているかもしれないのですが）生徒がいることです。

こちらのイライラが募ります(>_<)

これがなければ、パーフェクトの授業形態になるのですが・・・

いずれにしましても、学校や大手の学習塾では出来ない

『教育の未来の形を先取り』

しているのは間違いありません。

MACの中学部では6時50分になると、
「トライアル用意して！」

えっ、中学生になってもトライアルをしているの？と言われそうですが・・・そうです、中学生もトライアルをしています。でも、**トライアルをしている重要性に気付くのは、ズーと先の就職試験の時なんです。**

世界最大の総合航空貨物輸送企業FedEx（保有飛行機666機、配送車両43000台従業員25万2000人）に勤めておられた育脳寺子屋の加盟教室・学習塾メモリーの加納先生によれば、

最近の就職適性検査では、パズルなどで空間認知能力もテストされるとのこと。

多くの外資系の会社と同じく、FedExでも新入社員はほとんど採用されず、少なくとも98%以上は中途採用。書類選考の後、面接が何回かあり「ぜひ採用したい」と思った人にだけ就職適性検査を受検してもらう。

就職適性検査はパソコン上で行われ、実生活に結びついた計算問題、パズルのような問題、心理テストといったものが組み合わされて行われる。そして一つでも基準に達しなければ不合格となる。

例えば、計算能力は高く、心理テストの結果も非常に良好。ただ、パズル問題だけが基準に満たなかった。しかし、どれか一つでも基準を満たさなければ不合格と相成る。

この適性検査のテスト自体、世界的な外資系人材コンサルティング会社が開発したものだから、過去の膨大なデータに基づいているものだろうとのこと。

このような話を知り合いの企業経営者に話したところ、自社でも特に「空間認知能力」の欠如している人は絶対に採用しないとおっしゃっていました。

実は、この加納先生、「**たったの90分で成績を上げられる勉強法**」というタイトルの本を出版されました。詳しくはこの通信の7, 8ページに記載しています。

(この冊子は、育脳寺子屋加盟教室の強力な保護者向けのツールになるのではと考えています)

『**世界はひとつの教室**』では、

テストについては、ある時点における教科の内容の一部について、生徒の記憶と理解のおおよその状況を測定するもの。人生の成功を左右するのは、創造性、情熱、独創性。テストで高得点を取る「成績優秀な」生徒とは限らない、と。

宿題については、なぜ宿題が必要になるのか？

学校で十分な学習がなされないから。標準な教室モデルの中心をなす講義形式の画一的な授業が、きわめて効率の悪い学習方法だから、と。

そして、ミシガン大学の調査では、

学力テストの得点アップと問題行動の減少をもたらす最大の要因は、宿題に費やす時間ではなく、家族で食卓を囲む頻度とその時間の長さである、と。

先生と生徒の人数比については、

先生一人あたりの生徒の数が少なければ少ないほど一人の生徒の目配りしやすくなり、重要だが、それ以上に**大切なのは「それぞれの生徒が先生とどれだけ貴重な時間を過ごせるか」という観点**である、と。

ところで、生徒の集中力が持続する時間は何分だとお考えですか？

『**世界はひとつの教室**』には「**10～15分**」と書かれています。

育脳寺子屋の小学部では、次々と取り組む内容を変えています。正解ですね。

それと小1～小6、中1～中3の年齢別でない授業形態。

『**世界はひとつの教室**』では、いろいろな年齢が混じっていると、年上の子も年下の子も、それぞれ得るものがある。年上の子は年下の子に対して責任を持ち、年下の方は年上を尊敬し、そのまねをする。どちらも少し背伸びをして、難局に対処する、と。

MACでは、年下の生意気な子と、年上の子でもめていることがあります。その時には長幼の序の指導をしています(^_^;)

「20歳であろうが80歳であろうが、学ぶのをやめた人は老人である。学び続ける人は、いつまでも若い。人生の最も大切なのは、心を若く保つことである」

(多くの人が30代で新しいことを学ばなくなるそうです)

・・・ヘンリー・フォード

『たったの90分で成績を上げられる勉強法』の

育脳寺子屋の紹介文では

育脳寺子屋（株式会社育脳寺子屋 MAC 京都市右京区 <http://ikunouterakoya.com/>）は京都に本部を置く能力開発教室。この特徴だが、90分間（幼稚園児は60分）の授業のなかで、数多くの教材を使って学習する。そろばん、立体パズル、切り絵、点描写、音読（読みきかせ）、塗り絵、ひらがな・カタカナ練習、間違い探し、物語記憶など。90分授業のなかで7～8種類もの学習をする。最初の1カ月くらいは、細かく学習のやり方を説明する必要があるが、1カ月もすると教材を渡しておくだけで、後は、自分の好きな順番で課題をこなしていけるようになる。家庭教師や個別指導の弊害として、講師が教えすぎるため、その場では分かったような気になるが、テストをしてみると散々という場合がある。育脳方式では、自分自身で学習を進めていくため、自立型の学習ができるようになっていく。

もちろん、そろばんでも1回の授業で10分ちょっとの練習しかしないため、珠算検定で何段が取れるようなレベルにはならない。しかし、日常生活や仕事では十分なレベルの計算力がつく。

ここに記載されているソロバン指導について補足しておきますと、ある珠算団体の実施する検定試験では、小数の乗除暗算が段位を取得しているにもかかわらず全く出来ないという事実があります。

育脳寺子屋で指導しているMAC式珠算メソッドでは、4、5級レベルの練習に入れば小数の乗除暗算が出来ます。

そのようなことから、珠算団体の実施している検定試験は、受験していません。

**MAC式珠算メソッドによる小数乗除暗算へと導く乗除算練習帳①②出来ました！！
合わせて塗り絵やシールなどを使って楽しく取り組める初歩導入練習帳も！**

ソロバン指導について関係各位にお詫び

先日ピコ本部様よりソロバン指導で使用する「足し算・引き算の九九表」の提示を受けまして、前々回の育脳寺子屋通信で記載したピコ本部様の珠算指導が、事実とは違うとの抗議を受けました。

そろばん塾ピコの一加盟教室の先生から直接伺った話だったのですが、全てのそろばん塾ピコの教室でそのような指導をされているような記載をしてしまい、関係各位に大変ご迷惑をおかけしました。ここに心よりお詫び致します。

ピコ本部様の代表からは、私の人格を疑うとのご叱責を受け、深く反省致しております。誠に申し訳ございませんでした。

育脳寺子屋MACがお勧め 教科指導のヒント満載！！

- ・学習プロセスを変えれば、勉強効率を劇的にあげられる
- ・全科目の点数を上げられる勉強法
- ・誰でもできる超加速学習法 e + c

育脳寺子屋の生徒募集の

強力なツールとしても！

高校受験

たったの**90分**で
劇的に
成績を上げられる
勉強法

1分間で記憶術をマスターし、30日で劇的に成績を上げ、誰でも有名大学に入れる勉強法



YELL books

加納邦広